

# LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

## 運用報告書（全体版）

第232期	決算日	2021年12月20日
第233期	決算日	2022年1月18日
第234期	決算日	2022年2月18日
第235期	決算日	2022年3月18日
第236期	決算日	2022年4月18日
第237期	決算日	2022年5月18日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：  
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2022年5月18日に第237期の決算を行いましたので、第232期、第233期、第234期、第235期、第236期、第237期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者  
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク  
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
208期(2019年12月18日)	5,638	5	1.4	96.0	△25.9	4,032			
209期(2020年1月20日)	5,638	5	0.1	96.6	△22.2	3,937			
210期(2020年2月18日)	5,481	5	△2.7	94.7	△26.1	3,659			
211期(2020年3月18日)	5,383	5	△1.7	92.7	△25.9	3,512			
212期(2020年4月20日)	5,337	5	△0.8	91.9	△23.8	3,460			
213期(2020年5月18日)	5,275	5	△1.1	93.8	△28.3	3,376			
214期(2020年6月18日)	5,485	5	4.1	87.8	△28.4	3,483			
215期(2020年7月20日)	5,610	5	2.4	92.9	△40.0	3,494			
216期(2020年8月18日)	5,750	5	2.6	95.6	△41.8	3,553			
217期(2020年9月18日)	5,675	5	△1.2	95.9	△41.1	3,415			
218期(2020年10月19日)	5,636	5	△0.6	96.9	△42.1	3,320			
219期(2020年11月18日)	5,627	5	△0.1	95.8	△44.1	3,159			
220期(2020年12月18日)	5,760	5	2.5	99.0	△46.0	3,104			
221期(2021年1月18日)	5,699	5	△1.0	95.7	△39.7	3,012			
222期(2021年2月18日)	5,785	5	1.6	97.0	△39.4	2,970			
223期(2021年3月18日)	5,919	5	2.4	97.8	△37.1	2,963			
224期(2021年4月19日)	5,883	5	△0.5	94.0	△38.6	2,849			
225期(2021年5月18日)	6,000	5	2.1	94.6	△36.9	2,832			
226期(2021年6月18日)	5,929	5	△1.1	94.8	△33.7	2,730			
227期(2021年7月19日)	5,844	5	△1.3	97.0	△29.7	2,628			
228期(2021年8月18日)	5,771	5	△1.2	94.6	△27.5	2,546			
229期(2021年9月21日)	5,770	5	0.1	92.1	△34.7	2,505			
230期(2021年10月18日)	5,935	5	2.9	90.3	△31.6	2,515			
231期(2021年11月18日)	5,785	5	△2.4	95.5	△38.3	2,322			
232期(2021年12月20日)	5,709	5	△1.2	95.3	△35.7	2,236			
233期(2022年1月18日)	5,832	5	2.2	94.8	△33.5	2,260			
234期(2022年2月18日)	5,804	5	△0.4	95.0	△39.8	2,217			
235期(2022年3月18日)	5,842	5	0.7	90.7	△45.2	2,215			
236期(2022年4月18日)	6,062	5	3.9	93.4	△46.3	2,229			
237期(2022年5月18日)	6,033	5	△0.4	91.0	△45.2	2,177			

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			騰 落 率	率		
第232期	(期 首) 2021年11月18日	円 5,785		% —	% 95.5	% △38.3
	11月末	5,740		△0.8	96.7	△38.8
	(期 末) 2021年12月20日	5,714		△1.2	95.3	△35.7
第233期	(期 首) 2021年12月20日	5,709		—	95.3	△35.7
	12月末	5,827		2.1	95.3	△35.8
	(期 末) 2022年1月18日	5,837		2.2	94.8	△33.5
第234期	(期 首) 2022年1月18日	5,832		—	94.8	△33.5
	1月末	5,735		△1.7	90.7	△33.7
	(期 末) 2022年2月18日	5,809		△0.4	95.0	△39.8
第235期	(期 首) 2022年2月18日	5,804		—	95.0	△39.8
	2月末	5,743		△1.1	95.4	△40.0
	(期 末) 2022年3月18日	5,847		0.7	90.7	△45.2
第236期	(期 首) 2022年3月18日	5,842		—	90.7	△45.2
	3月末	6,069		3.9	91.6	△45.4
	(期 末) 2022年4月18日	6,067		3.9	93.4	△46.3
第237期	(期 首) 2022年4月18日	6,062		—	93.4	△46.3
	4月末	6,013		△0.8	93.9	△44.9
	(期 末) 2022年5月18日	6,038		△0.4	91.0	△45.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

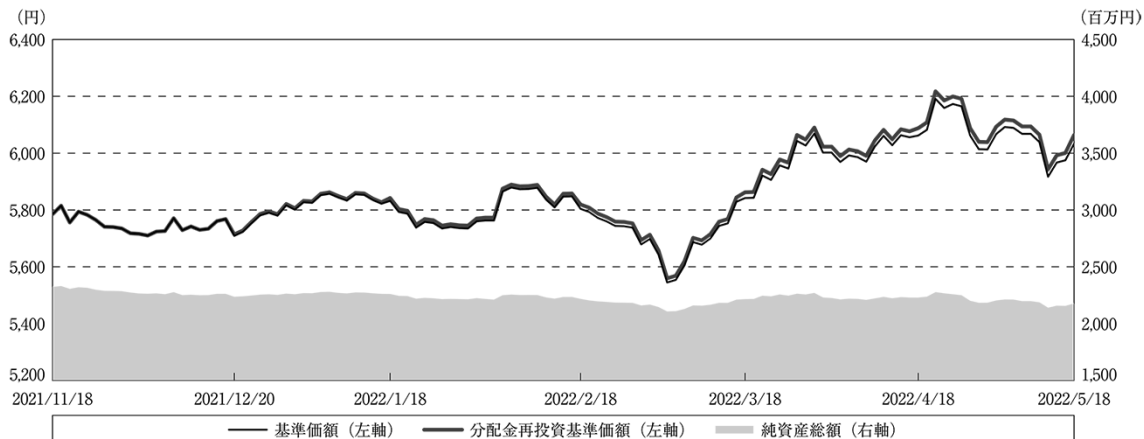
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2021年11月19日～2022年5月18日)



第232期首：5,785円

第237期末：6,033円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：4.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2021年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。

公社債利金を手堅く確保しました。ユーロ・円相場がユーロ高・円安となったことから、為替損益もプラスとなりました。一方、公社債損益については、マイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が確認され、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。その後は、オミクロン株の感染拡大に対する過度の警戒感が和らいだことや、欧州エネルギー市場における天然ガス価格の上昇を背景にインフレの長期化観測が広がったことなどから、利回りは上昇しました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）が金融政策の正常化を想定より早く進めるとの見方が広がったことから、利回りは上昇しましたが、ウクライナ問題を巡り、欧米によるロシアへの制裁強化により欧州経済への影響が懸念されると、低下しました。その後は、原油価格が急騰し、インフレへの警戒感が高まったことや、ECBが量的緩和の縮小を加速する方針を発表したことなどを受けて、利回りは上昇しました。

期の後半は、ECBが金融政策の正常化を進めるとの見方が根強い中、利回りの上昇が続きました。その後、当作成期末にかけては、ウクライナ紛争の長期化による欧州景気への影響が懸念されたことなどから、利回りは低下しました。

欧州社債市場については、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が拡大しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、リスク回避姿勢が意識されたことなどから、ユーロは対円で上値の重い展開となりましたが、オミクロン株の感染拡大に対する過度の警戒感が後退すると、底堅い動きとなりました。

期の半ばは、ECB総裁がインフレへの警戒感を示し、ECBによる2022年内の利上げ開始観測が浮上したことから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。その後は、ウクライナ情勢の悪化を受けて欧州経済への影響が懸念されたことなどから、ユーロは対円で下落しましたが、ウクライナとロシアの停戦交渉に対する進展期待が高まると、反発しました。

期の後半は、ECBによる金融政策の正常化が進むとの観測が根強い中、金融緩和を継続する日銀との政策方向の違いを意識したユーロ買い・円売りが強まりました。その後は、新型コロナウイルスの感染が拡大する中国でロックダウン（都市封鎖）が拡大し、世界経済の減速につながるとの懸念が広がったことから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2021年11月19日～2022年5月18日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期
	2021年11月19日～ 2021年12月20日	2021年12月21日～ 2022年1月18日	2022年1月19日～ 2022年2月18日	2022年2月19日～ 2022年3月18日	2022年3月19日～ 2022年4月18日	2022年4月19日～ 2022年5月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.088%	5 0.086%	5 0.086%	5 0.086%	5 0.082%	5 0.083%
当期の収益	0	3	0	2	3	1
当期の収益以外	4	1	4	2	1	3
翌期繰越分配対象額	683	681	677	675	673	669

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年11月19日～2022年5月18日)

項 目	第232期～第237期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 13	% 0.218	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 6 )	(0.098)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 6 )	(0.098)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 0 )	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.033	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	( 1 )	(0.018)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	15	0.253	
作成期間の平均基準価額は、5,854円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

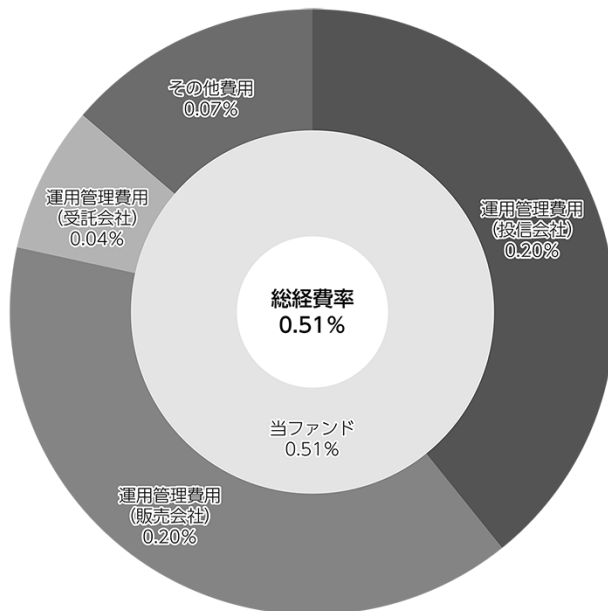
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.51%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2021年11月19日～2022年5月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第232期～第237期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		9,107	13,267	186,415	269,473

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年11月19日～2022年5月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2021年11月19日～2022年5月18日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年11月19日～2022年5月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2022年5月18日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第231期末	第237期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		1,644,002	1,466,694	2,179,948

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年5月18日現在)

項 目	第237期末	
	評 価 額	比 率
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	千円 2,179,948	% 99.8
コール・ローン等、その他	4,675	0.2
投資信託財産総額	2,184,623	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,212,487千円)の投資信託財産総額(2,239,192千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=136.56円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第232期末	第233期末	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末
	2021年12月20日現在	2022年1月18日現在	2022年2月18日現在	2022年3月18日現在	2022年4月18日現在	2022年5月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,244,494,822	2,268,445,318	2,220,720,091	2,218,877,662	2,236,222,490	2,184,623,198
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	2,239,293,830	2,263,576,765	2,220,474,819	2,218,284,556	2,231,886,296	2,179,948,381
未収入金	5,200,992	4,868,553	245,272	593,106	4,336,194	4,674,817
(B) 負債	8,141,576	7,688,338	3,085,563	3,306,620	7,102,895	7,367,557
未払収益分配金	1,958,760	1,938,223	1,910,500	1,896,283	1,838,641	1,804,368
未払解約金	5,200,992	4,868,553	245,272	593,106	4,336,194	4,674,817
未払信託報酬	880,060	791,419	834,636	733,496	833,742	797,250
その他未払費用	101,764	90,143	95,155	83,735	94,318	91,122
(C) 純資産総額(A-B)	2,236,353,246	2,260,756,980	2,217,634,528	2,215,571,042	2,229,119,595	2,177,255,641
元本	3,917,521,201	3,876,447,890	3,821,000,631	3,792,566,108	3,677,282,689	3,608,737,727
次期繰越損益金	△1,681,167,955	△1,615,690,910	△1,603,366,103	△1,576,995,066	△1,448,163,094	△1,431,482,086
(D) 受益権総口数	3,917,521,201口	3,876,447,890口	3,821,000,631口	3,792,566,108口	3,677,282,689口	3,608,737,727口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,709円	5,832円	5,804円	5,842円	6,062円	6,033円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 4,014,418,273円

当作成期中追加設定元本額 22,360,763円

当作成期中一部解約元本額 428,041,309円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,431,482,086円であります。

## ○損益の状況

項 目	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期
	2021年11月19日～ 2021年12月20日	2021年12月21日～ 2022年1月18日	2022年1月19日～ 2022年2月18日	2022年2月19日～ 2022年3月18日	2022年3月19日～ 2022年4月18日	2022年4月19日～ 2022年5月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 27,063,162	50,654,849	△ 7,945,997	17,177,047	83,618,034	△ 7,676,374
売買益	288,038	51,144,387	327,454	19,454,279	85,561,153	627,267
売買損	△ 27,351,200	△ 489,538	△ 8,273,451	△ 2,277,232	△ 1,943,119	△ 8,303,641
(B) 信託報酬等	△ 981,824	△ 881,562	△ 929,791	△ 817,231	△ 928,060	△ 888,372
(C) 当期損益金(A+B)	△ 28,044,986	49,773,287	△ 8,875,788	16,359,816	82,689,974	△ 8,564,746
(D) 前期繰越損益金	△ 302,973,082	△ 327,691,456	△ 274,950,598	△ 281,801,519	△ 258,200,019	△ 173,109,203
(E) 追加信託差損益金	△ 1,348,191,127	△ 1,335,834,518	△ 1,317,629,217	△ 1,309,657,080	△ 1,270,814,408	△ 1,248,003,769
(配当等相当額)	( 269,254,077)	( 264,851,311)	( 260,344,921)	( 256,851,311)	( 248,276,166)	( 243,094,832)
(売買損益相当額)	(△1,617,445,204)	(△1,600,685,829)	(△1,577,974,138)	(△1,566,508,391)	(△1,519,090,574)	(△1,491,098,601)
(F) 計(C+D+E)	△ 1,679,209,195	△ 1,613,752,687	△ 1,601,455,603	△ 1,575,098,783	△ 1,446,324,453	△ 1,429,677,718
(G) 収益分配金	△ 1,958,760	△ 1,938,223	△ 1,910,500	△ 1,896,283	△ 1,838,641	△ 1,804,368
次期繰越損益金(F+G)	△ 1,681,167,955	△ 1,615,690,910	△ 1,603,366,103	△ 1,576,995,066	△ 1,448,163,094	△ 1,431,482,086
追加信託差損益金	△ 1,349,787,963	△ 1,336,563,230	△ 1,319,197,422	△ 1,310,449,395	△ 1,271,379,023	△ 1,249,420,831
(配当等相当額)	( 267,657,605)	( 264,122,992)	( 258,777,121)	( 256,059,541)	( 247,712,177)	( 241,678,805)
(売買損益相当額)	(△1,617,445,568)	(△1,600,686,222)	(△1,577,974,543)	(△1,566,508,936)	(△1,519,091,200)	(△1,491,099,636)
繰越損益金	△ 331,379,992	△ 279,127,680	△ 284,168,681	△ 266,545,671	△ 176,784,071	△ 182,061,255

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	361,924	1,209,511	342,295	1,103,968	1,274,026	387,306
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	269,254,441	264,851,704	260,345,326	256,851,856	248,276,792	243,095,867
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
分配対象収益額(A+B+C+D)	269,616,365	266,061,215	260,687,621	257,955,824	249,550,818	243,483,173
(1万口当たり収益分配対象額)	( 688)	( 686)	( 682)	( 680)	( 678)	( 674)
収 益 分 配 金	1,958,760	1,938,223	1,910,500	1,896,283	1,838,641	1,804,368
(1万口当たり収益分配金)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)	( 5)

## ○分配金のお知らせ

	第232期	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期
1 万口当たり分配金 (税込み)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2022年5月18日現在)

## &lt;LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド&gt;

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(1,503,351千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第237期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	600	601	82,111	3.7	—	—	—	3.7
イタリア	850	849	115,990	5.2	—	—	—	5.2
フランス	410	415	56,784	2.5	—	—	—	2.5
オランダ	700	698	95,443	4.3	—	—	—	4.3
スペイン	400	392	53,569	2.4	—	—	2.4	—
ベルギー	700	701	95,749	4.3	—	—	—	4.3
ルクセンブルク	820	811	110,774	5.0	—	—	1.8	3.2
フィンランド	420	416	56,889	2.5	—	—	2.5	—
その他	10,010	9,986	1,363,736	61.0	—	—	14.7	46.3
合 計	14,910	14,872	2,031,049	90.9	—	—	21.4	69.5

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第237期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券)	VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	1.032	600	601	82,111	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	FCA BANK SPA IRELAND	0.5	450	447	61,137	2023/9/18
		UNICREDIT SPA	1.0	400	401	54,853	2023/1/18
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	ENGIE SA	3.5	410	415	56,784	2022/10/18
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLIANZ FINANCE II B.V.	0.25	600	598	81,783	2023/6/6
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.067	100	100	13,660	2022/6/26
スペイン	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANCO SANTANDER SA FRN	0.1	400	392	53,569	2025/1/26
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	0.022	700	701	95,749	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	LOGICOR FINANCING SARL	0.75	300	290	39,694	2024/7/15
		MEDTRONIC GLOBAL HLDINGS	0.375	520	520	71,080	2023/3/7
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	NORDEA BANK ABP	1.125	420	416	56,889	2025/2/12
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ANNINGTON FUNDING PLC	1.65	200	197	26,966	2024/7/12
		BANK OF AMERICA CORP	2.375	430	438	59,891	2024/6/19
		BANK OF NOVA SCOTIA FRN	0.139	620	621	84,807	2022/10/5
		COMMONWEALTH BANK AUST	0.5	730	730	99,808	2022/7/11
		CREDIT SUISSE LONDON	1.0	370	371	50,728	2023/6/7
		DANSKE BANK A/S	1.625	430	432	59,036	2024/3/15
		DNB BANK ASA FRN	0.287	700	700	95,688	2022/7/25
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	0.125	550	533	72,791	2024/8/19
		HONEYWELL INTERNATIONAL	1.3	410	413	56,476	2023/2/22
		JPMORGAN CHASE & CO	1.5	600	604	82,522	2022/10/26
		LLOYDS BANK PLC	1.375	650	653	89,200	2022/9/8
		NATWEST MARKETS PLC	1.0	420	416	56,884	2024/5/28
		NYKREDIT FRN	0.037	660	660	90,143	2022/6/2
		SKANDINAVISKA ENSKILDA	0.75	580	580	79,281	2022/6/16
		SPAREBANKEN VEST	0.5	540	541	73,945	2022/11/29
		SVENSKA HANDELSBANKEN AB	1.125	560	563	76,991	2022/12/14
		SWEDBANK AB	0.25	500	483	66,048	2024/10/9
TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	0.064	350	337	46,025	2025/1/13		
UBS GROUP FUNDING	2.125	280	284	38,800	2024/3/4		
WELLS FARGO & COMPANY	0.5	430	422	57,696	2024/4/26		
合	計					2,031,049	

(注) 邦貨換算金額は、当作期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			第237期末	
			買 建 額	売 建 額
外 国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2022.6限月	百万円 -	百万円 1,008
	その他先物取引	EURIBOR先物 3カ月	169	-

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

# LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第20期 決算日 2022年2月18日

(計算期間：2021年2月19日～2022年2月18日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第20期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。 2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-／Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2／P2格以上の格付けを有するものとします。
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
16期(2018年2月19日)	14,491		10.3	95.6	△63.9	5,782
17期(2019年2月18日)	13,647	△	5.8	96.0	△44.9	4,947
18期(2020年2月18日)	13,044	△	4.4	94.6	△26.1	3,783
19期(2021年2月18日)	13,986		7.2	96.9	△39.4	3,085
20期(2022年2月18日)	14,245		1.9	94.8	△39.7	2,276

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首)	円		%	%	%
2021年2月18日	13,986		—	96.9	△39.4
2月末	14,174		1.3	98.0	△39.8
3月末	14,237		1.8	93.9	△37.3
4月末	14,474		3.5	96.6	△39.6
5月末	14,664		4.8	96.1	△33.4
6月末	14,427		3.2	95.1	△31.7
7月末	14,258		1.9	93.4	△29.9
8月末	14,208		1.6	94.6	△27.6
9月末	14,224		1.7	89.0	△35.1
10月末	14,536		3.9	92.4	△36.7
11月末	14,036		0.4	96.7	△38.8
12月末	14,269		2.0	95.3	△35.8
2022年1月末	14,060		0.5	90.7	△33.6
(期末)					
2022年2月18日	14,245		1.9	94.8	△39.7

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2021年2月19日～2022年2月18日)



### ○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

公社債利金を手堅く確保しました。為替損益についても、プラスとなりました。一方、公社債損益については、マイナスとなりました。

当期の欧州債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、欧米各国などで新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、世界景気の回復期待が広がったことなどから、利回りは上昇しました。その後は、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和の長期化観測などを背景に、利回りは低下（価格は上昇）しました。

期の半ばは、新型コロナウイルスのデルタ株の感染が拡大する中、欧州景気の先行き不透明感が意識されたことなどから、利回りは低下しました。その後は、ECBが量的緩和の縮小開始を決定したことや、原油価格の上昇によりインフレ加速への警戒感が高まったことなどから、利回りは上昇しました。

期の後半は、新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が確認され、投資家のリスク回避姿勢が強まる中、利回りは低下しました。その後は、欧州エネルギー市場における天然ガス価格の上昇を背景にインフレの長期化観測が高まったことに加え、ECBが2022年内の利上げ開始の可能性を示唆したことなどから、利回りは上昇しました。

社債セクターについては、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、欧州主要国で新型コロナウイルスのワクチンの普及が加速し、景気の回復期待が広がったことなどから、ユーロは対円で上昇しました。

期の半ばは、ECBによる金融緩和の長期化観測が根強いことや、新型コロナウイルスのデルタ株の感染が拡大し、欧州景気の先行き不透明感が意識されたことなどから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。その後は、原油高などを背景にインフレ圧力の高まりが意



識され、ドイツの国債利回りが上昇したことから、ユーロ買い・円売りが強まりました。

期の後半は、新型コロナウイルスのオミクロン株が確認され、リスク回避姿勢が強まったことから、ユーロ売り・円買いが優勢となりました。その後は、オミクロン株の感染拡大に対する過度の警戒感が和らいだことや、ECBによる2022年内の利上げ観測が浮上したことから、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa 3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A 3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年2月19日～2022年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	2 (2)	0.014 (0.014)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、14,297円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年2月19日～2022年2月18日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ドイツ	社債券(投資法人債券を含む)	—	300
	イタリア	社債券(投資法人債券を含む)	455	— ( 450)
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	116	— ( 410)
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	100	200 ( 760)
	スペイン	社債券(投資法人債券を含む)	399	—
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	—	100
	ルクセンブルク	社債券(投資法人債券を含む)	426	—
	フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	— ( 740)
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	3,848	558 (8,490)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 -	百万円 -	百万円 4,112	百万円 4,455

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年2月19日～2022年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2022年2月18日現在)

### 外国公社債

#### (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	1,200	1,203	157,109	6.9	-	-	-	6.9
イタリア	850	855	111,725	4.9	-	-	-	4.9
フランス	410	420	54,888	2.4	-	-	-	2.4
オランダ	800	802	104,830	4.6	-	-	-	4.6
スペイン	400	398	52,015	2.3	-	-	2.3	-
ベルギー	700	702	91,682	4.0	-	-	-	4.0
ルクセンブルク	820	822	107,405	4.7	-	-	1.7	3.0
その他	11,260	11,332	1,479,689	65.0	-	-	18.3	46.7
合 計	16,440	16,537	2,159,346	94.8	-	-	22.3	72.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期末				償還年月日	
		利率	額面金額	評価額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券)	SAP SE	0.25	600	600	78,354	2022/3/10
		VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	0.92	600	603	78,754	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	FCA BANK SPA IRELAND	0.5	450	452	59,025	2023/9/18
		UNICREDIT SPA	1.0	400	403	52,700	2023/1/18
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	ENGIE SA	3.5	410	420	54,888	2022/10/18
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLIANZ FINANCE II B.V.	0.25	600	602	78,686	2023/6/6
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	—	200	200	26,143	2022/6/26
スペイン	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANCO SANTANDER SA FRN	0.1	400	398	52,015	2025/1/26
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	KBC GROUP NV FRN	—	700	702	91,682	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	LOGICOR FINANCING SARL	0.75	300	299	39,170	2024/7/15
		MEDTRONIC GLOBAL HLDINGS	0.375	520	522	68,234	2023/3/7
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ANNINGTON FUNDING PLC	1.65	200	202	26,479	2024/7/12
		BANK OF AMERICA CORP	2.375	430	449	58,672	2024/6/19
		BANK OF NOVA SCOTIA FRN	0.03	620	621	81,194	2022/10/5
		COMMONWEALTH BANK AUST	0.5	730	732	95,616	2022/7/11
		CREDIT SUISSE LONDON	1.0	370	374	48,931	2023/6/7
		DANSKE BANK A/S	1.625	430	440	57,457	2024/3/15
		DNB BANK ASA FRN	0.198	700	701	91,654	2022/7/25
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	0.125	550	544	71,059	2024/8/19
		HONEYWELL INTERNATIONAL	1.3	410	415	54,276	2023/2/22
		JPMORGAN CHASE & CO	1.5	600	607	79,289	2022/10/26
		LEEDS BUILDING SOCIETY	1.375	560	561	73,375	2022/5/5
		LLOYDS BANK PLC	1.375	650	656	85,664	2022/9/8
		MUFG BANK LTD	0.875	510	510	66,631	2022/3/11
		NATWEST MARKETS PLC	0.625	600	600	78,361	2022/3/2
		NYKREDIT FRN	—	660	660	86,274	2022/6/2
		SKANDINAVISKA ENSKILDA	0.75	580	582	76,031	2022/6/16
		SPAREBANKEN VEST	0.5	540	543	70,950	2022/11/29
		SVENSKA HANDELSBANKEN AB	1.125	560	566	73,989	2022/12/14
		SWEDBANK AB	0.25	500	494	64,608	2024/10/9
		TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	0.064	350	346	45,208	2025/1/13
		UBS GROUP FUNDING	2.125	280	289	37,837	2024/3/4
		WELLS FARGO & COMPANY	0.5	430	429	56,124	2024/4/26
合	計					2,159,346	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期	
			買建額	売建額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2022.3限月	百万円 -	百万円 904

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年2月18日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
公社債	千円 2,159,346	% 94.8
コール・ローン等、その他	117,777	5.2
投資信託財産総額	2,277,123	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,250,633千円)の投資信託財産総額(2,277,123千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=130.57円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2021年2月19日～2022年2月18日)

該当事項はございません。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,277,031,756
コール・ローン等	87,140,237
公社債(評価額)	2,159,346,571
未収入金	2,897,348
未収利息	7,379,096
前払費用	1,932,115
差入委託証拠金	18,336,389
(B) 負債	245,345
未払解約金	245,272
未払利息	73
(C) 純資産総額(A-B)	2,276,786,411
元本	1,598,257,987
次期繰越損益金	678,528,424
(D) 受益権総口数	1,598,257,987口
1万円当たり基準価額(C/D)	14,245円

<注記事項>

- (注) 元本の状況
- |           |                |
|-----------|----------------|
| 期首元本額     | 2,205,894,727円 |
| 期中追加設定元本額 | 14,830,702円    |
| 期中一部解約元本額 | 622,467,442円   |
- (注) 期末における元本の内訳
- |                             |                |
|-----------------------------|----------------|
| LM・ユーロ毎月分配型ファンド             | 1,558,774,882円 |
| LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用) | 39,483,105円    |

○損益の状況 (2021年2月19日～2022年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	18,702,420
受取利息	18,719,459
支払利息	△ 17,039
(B) 有価証券売買損益	40,488,397
売買益	75,228,484
売買損	△ 34,740,087
(C) 先物取引等取引損益	1,581,907
取引益	3,755,898
取引損	△ 2,173,991
(D) 保管費用等	△ 377,220
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	60,395,504
(F) 前期繰越損益金	879,233,614
(G) 追加信託差損益金	6,388,469
(H) 解約差損益金	△267,489,163
(I) 計(E+F+G+H)	678,528,424
次期繰越損益金(I)	678,528,424

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<合併について>

レッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社は、2021年4月1日付でフランクリン・templton・インベストメンツ株式会社を吸収合併し、商号を「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更致しました。

<主な約款変更に関するお知らせ>

信託約款中の委託者名を「レッジ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社」から「フランクリン・templton・ジャパン株式会社」に変更しました。

(変更日：2021年4月1日)